

学ぶ姿勢をまず自覚してもらうために

当HP「『遊び』の言葉から教育活動を考えてみて」の記事の中に、「子どもの活動（学習も含め）に対する動機付けへの工夫、環境整備は、教師として行うことで、あくまで活動するかどうかは、子どもが選ぶことである。」と記しました。「では、そういう自分には実際はどうなの？」と質問されるかもしれない。その質問への答えは、以下をお読みいただくしかない。

ある学校の保育科生（約140名）への15コマの授業が先週から始まった。出欠調べを兼ね、毎時間後授業の感想を提出してもらう。学ぶ姿勢のない学生に講義する程しんどい作業はないので、これからの授業で学ぶ自覚をまずもってもらえるようにそれなりに工夫した最初の授業の感想は、次に類するものが殆どでした。

- ・今日の授業は、私にとって保育の勉強になりました。広い視野を持ち、様々な意見を聞きたいと思っているのですが、まさにその授業だったと思います。一日中、先生の話聞いていたいと思う程、今の私に必要な講義でした。現場で役に立ちような話をしてくれるので、よてもいいです。

- ・保育士になる自分について深く考えさせられました。先生の話や話し方は、わかりやすいです。

- ・今日の授業をうけて、この授業は「自分で考える」ということが大切な授業でないかなと思いました。

- ・今日の授業は、今のままじゃいい保育士になれないんじゃないかなと気付かされました。
- ・先生の授業で教えてくれることは、「保育士」としてだけが覚えておかなければならないことでなく、人として心にとめおかなければならないことばかりでした。講義を通して「子どもの何を、どう育てるか」の答えを少しでも見つけることができるように、頑張りたいです。これからもこの授業が楽しみです。

- ・保育者になるための心の持ち方など、他の講義とは違った感じがしました。とても意欲がでました。

- ・授業の内容は、すごく納得というか、感動に近いものがありました。

- ・正直、久しぶりに真剣に聞きいった授業でした。先生は正面から話してくれました。普通に黒板にペラペラ書くのではなく、自分自身で考え、問うというのがいいです。これからの授業も楽しみです。